

Ballet T.E.D Showcase Symposium

2021 12.19 Sun 13:00 Open
13:30 Start

パフォーマンス

- [バレエ] 白石 あゆ美
アレクサンドル・ブーベル
- [オペラ] 荒牧 小百合(ソプラノ)
津島 圭佑(ピアノ)
- [演劇] 今井 尋也 立本 夏山 福島 梓
ヴィクトル・ニジェリスコイ
- [成果発表] ワークショップ参加者

シンポジウム

- バレエにおける演劇教育の可能性—
- 鈴木 晶 (バレエ史研究・法政大学名誉教授)
- 三輪 えり花 (演出家、俳優、翻訳家)
- ヴィクトル・ニジェリスコイ



会場

調布グリーンホール小ホール
〒182-0026 東京都調布市小島町 2-33-1
調布市文化会館たづくり内
<https://www.chofu-culture-community.org>



チケット料金
¥3,000-

チケット予約



お問い合わせ
info@balletted.com



Symposium Speakers

鈴木 晶 (すずき・しょう)

バレエ史研究・法政大学名誉教授

著書に『踊る世紀』『ニジンスキー 神の道化』『バレエ誕生』『オペラ座の迷宮』他多数。編著に『バレエとダンスの歴史—欧米劇場舞踊史』。訳書に『ニジンスキーの手記 完全版』『ディアギレフ—芸術に捧げた生涯』他多数。これまでに日経新聞、ダンスマガジン他に舞台評を寄稿、公演プログラムにも解説も数多く寄稿。精神分析学も専門領域で、著書に『フロイト以後』『フロイトからユングへ』他、訳書に『愛するということ』『死ぬ瞬間』『フロイト』他。

スタッフ

演出 ヴィクトル・ニジェリスコイ 共同演出 柏木 俊彦 舞台監督 小笠原 幹夫 音響 オフィスマズルカ 照明 小泉 献子 Web制作 塚田 ひろみ・松本 宏輝
PR 東出りさ・西由紀子 PRアドバイザー 華みき 映像 BLANCO movie design 写真 小杉 朋子 イラスト 武蔵野 ルネ 子役モデル 渡部 日出寿・池田 朱穂
制作アドバイザー 熊谷 薫 制作 西木場 あかね・赤松 加奈子 宣伝デザイン 中島 美佳 協力 一般社団法人日本ダンスサイエンスアカデミー
プロデューサー 市川 喜愛瑠 主催 Kazan office, Ballet T.E.D Special Thanks: 米田 ひろみ・水井 博子・名越 雅沙・白川 万紗子・こやま あつこ

About us Ballet T.E.D とは? 2020年、コロナ禍を機に立ち上げたオンラインミーティング、表現者教育のディスカッション組織。メンバーは、バレエ・オペラ・演劇での活動を経て結成。バレエにおける演劇教育の必要性を中心に展開。変化する時代のニーズに合わせた文化活動や舞台芸術に取り組み、課題や問題意識をもとに地域社会に貢献する活動を行う。

Ballet T.E.D Special Workshop with Showcase Symposium

バレエテドスペシャルワークショップ
—ショーケース・シンポジウム—



初開催 /
2021 12.4 Sat — 12.19 Sun

バレエの演技を基礎から学ぶワークショップでバレエの表現力を高めるスペシャルプログラム
踊りの「表現力」は、もっと磨ける

参加者募集

T. BALLE T. D.

ARTS for the future!



Ballet T.E.D Special Workshop

「一生懸命バレエを踊っているのに」

舞台上、留学先で、カンパニーで、技術はあるのに「表現力が足りない」と言われて、「苦手だから」「日本人だから」「自分には表現する才能がない」と悩む方がいらっしゃいます。

しかし、誰も悪いわけではありません。バレエにおいて身体の技術はもちろん必要ですが、表現力をおろそかにはできません。「観客の心を動かす演技」とはなんなのでしょうか？基本的に演技のトレーニングは、教室の「みんな」とはいっしょにできない、とてもパーソナルな領域でもあり、作品に関わる人とのコミュニケーションも必要になる全体との関わりで積み上げていくものです。また、歴史的に西洋において、演劇とバレエは常に深いつながりを持って発展してきました。フランス、イギリス、ロシアの国立バレエ学校で「演劇・ドラマ」のクラスは必須科目になっていますが、その必要性について日本では理解されてきませんでした。実は、演劇・俳優の技術は、科学的にも生理学的な角度からも研究され続けており、理論が存在します。「役作り」はもちろんのこと、「歴史背景」「分析」「小道具・空間の使い方」「心と身体のルール」「感情の取り扱い」「コミュニケーション」はストーリーのある作品を上演する上では大切な要素です。

「こう演技すればいいのかな？」という「臆測」ではなく、できる限り「理論」や「事実(ファクト)」から表現について学び、前向きな課題解決をしてみませんか。大切な舞台上立つとき、オーディションでコンクールで、観客の心を動かす表現力を求められた時、チャレンジの瞬間。また、留学先での演技クラスの準備に、あらゆるシーンで活用できるスペシャルなワークショップ・プログラムを開催します。ぜひ、奮って、ご参加ください！あなたのチャレンジを待っています。いっしょに仲間になって学びましょう！

ワークショップ スケジュール



12 / 4 Sat.
10:00-12:00
バレエ音楽基礎 1
13:00-14:30
演技基礎 1

12 / 5 Sun.
10:00-12:00
バレエ音楽基礎 2
13:00-16:00
演技基礎 2

12 / 11 Sat.
10:00-12:00
日本伝統芸能のからだ
13:00-14:30
演技基礎 3

12 / 12 Sun.
10:00-12:00
ART・クリエイション
13:00-16:00
演技基礎 4

12 / 18 Sat.
9:30-12:00
演技基礎 5
13:00-14:30
バレエメイク基礎

12 / 19 Sun.
10:00-17:00
成果発表・シンポジウム

応募資格 全日程参加可能な方(参加者は12月19日(日)のパフォーマンスに出演)

年齢 高校生～現役で活動するダンサー

受講料 無料(10名限定)

会場 スタジオティノラス

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-9

<https://www.s-tenoras.com>

※ワークショップは東京都感染拡大防止ガイドラインに基づき実施致します。

※コロナなどに関わる国際的な事情により内容や講師を変更する可能性があります。予めご了承ください。

※文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

お申し込みはこちらから



お問い合わせ
info@balletted.com

[バレエのための演技基礎]

講師 ヴィクトル・ニジェリスコイ (演技)
野村陽子 (ピアニスト)

演技の基礎として必要不可欠である要素を理論から学び、体験する講座

- 1 ニュートラルな身体表現
- 2 想像の世界と身体の機能をつなげる技術
- 3 心と身体、表現の繋がりについて
- 4 テーマとシーンづくり
- 5 クリエーション

講師プロフィール：ロシア国立マールイ劇場付属 M. シチュエーピン記念国立演劇大学卒業。ロシア国立教育アカデミー教育学博士号修得。(社)日本ダンスサイエンスアカデミー理事。立教大学現代心理学部映像身体学科を経て、ロシア国立舞台芸術アカデミー、ロモノソフモスクワ国立大学心理学部、ロシア国立生理学研究所にて研究・指導にあたる。ワガノワバレエアカデミー学会にて論文発表、ボリス・エイフマンアカデミー、劇団四季、青年劇場では演技の基礎となる身体動作の指導を行う。通訳を介さない日本語でのダイレクトな指導には定評があり、理論から実践まで高い成果を出している。

[日本の伝統芸能のからだ]

講師 今井 尋也 (鼓・能)

海外の観客から「日本の文化」についての表現や意見を求められることがあります。今後、国際的な活動を目指すなら必須となる知識として日本人としてのアイデンティティも大切な要素となります。切り口はたくさん存在しますが、今回は「能」を中心に伝統芸能のからだの使い方や文化について考え、体験してみましょう。

講師プロフィール：1974年生まれ。幼少より祖父から能楽を学び、十代で初舞台。その後、国立能楽堂研修生・多摩美術大学身体造形学科・東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻を卒業後、渡仏し、現代演劇を学ぶ。帰国後、日本の古典と現代を背負った特異な身体性を表現する「ダンサー兼役者」として、コンテンポラリーダンスの舞台や東京国際舞台フェスティバル、プレヒト演劇祭等の舞台で活躍する。2000年「メガロシアター」を主宰し、現代演劇の演出家として活躍する。一般社団法人日本演出者 若手演出家コンクール 2020 優秀賞受賞者。

[ART・クリエイション]

講師 佐貫 巧 (ART)

ネオクラシックやコンテンポラリー作品に必要な「即興」。現代アートにも通ずる作品を踊るためには、形式から自由になって発想し、振付家の要求に応えるクリエイティブな思考が求められます。今回はピカソも作品として残したライトドローイングを体験！実際にからだの描く線をひかりを通して見てみましょう。

講師プロフィール：2009年 東京藝術大学大学院 美術研究科油画専攻 修了。同大学教育研究助手を経て現在、八戸学院大学短期大学部幼児保育学科 准教授。2014年 現代芸術教室「アトイズ」を開講し、八戸市美術館や十和田市現代美術館の教育普及プログラムに関わる。現代アート展「インシデンツ」を企画運営し、アーティストとして国内を中心に多数展覧会に参加。

[バレエ音楽の基礎知識]

講師 江藤勝己

知ればやさしい、バレエ音楽のルールは世界共通。音楽の知識が踊りの質を高めるために大切な要素として今回は、ドリープ、アダゲン、ミンクス、チャイコフスキー、その他のバレエ作品と踊り手にとっての音楽のリズムのとり方、オーケストラについての講義を行います。

講師プロフィール：クラシックバレエを橋浦勇氏に、ピアノを竹腰臣氏に、指揮を高階正光氏に師事。ただ一人の演出、振り付け、指揮者として活躍している。振付家として、数多くの全幕バレエを全国各地のバレエ団、研究所等で行っている。日本バレエ協会では、2009年都民芸術フェスティバル「眠れる森の美女」のバレエマスター、2010「ピアノ・コンチェルト」、2013「マリー・アントワネット」、等の作品を発表し好評を得る。指揮者として、2004年「眠れる森の美女」全曲版の演出、振付、指揮者としてデビュー。その後、『白鳥の湖』、『ジゼル』、『ラ・バヤデル』等の演出、振付、指揮を同時に行っている。2019年新作バレエ「ダーナの泉」の振り付け、指揮をし、高く評価される。バレエピアニストとして、バレエ・シャンブルウエスト、(財)スターダンサーズバレエ団、香港バレエ団等で活躍。新国立劇場バレエ団設立時より、専属ピアニストとして、全公演のリハーサル・ピアノを担当。'03年バレエ・シャンブルウエスト『タチヤーナ』の選曲を行い、ロシア公演にて高く評価される。同バレエ団では、『LUNA』、『ブランカ』、『おやゆび姫』等の選曲を行うほか、同バレエ団公演の指揮をつとめている。発売されているレッスンCDは30種類を超え、バレエ教師、振付家、ピアニスト、指揮者、有機農業士として活動中。京都バレエ専門学校講師、公益社団法人日本バレエ協会理事。

[メイク基礎]

講師 YOKO (Pecola felice代表/メイクアップアーティスト)

バレエにおいてメイクも舞台表現の一部。今までのメイクとは違う初心者でも出来るワンランク上のバレエメイク講座！YOKO流メイク術であなたの顔立ちに合わせて美しさを引き上げます。

メイクの仕方が分からない方、パーツでお悩みの方、キャラクターや衣装に合わせてメイクをアレンジしてみたい方、メイクで差をつけたい方

大手化粧品メーカーにて美容部員として活動後、同メーカーの美容情報、技術を伝える美容インストラクターを最年少で担当。その後、独立し Pecola felice を設立。(Advertisement)「株式会社アトリエヨシノ」「GU」(Magazine)「新書館 Clara」(Promotion) LANCOME、GIORLIGIO ARMANI beauty、THREE、ESTEELAUDER、伊勢半 (SNS) 株式会社アトリエヨシノ コラボ企画 [衣装 × メイク～衣装キャラクターから着想を得た表現効果アップバレエメイク] (その他) CM、MV、スチール、コンクール、舞台、個人・団体メイクレッスンメイクアップアーティストとして活動の拠点は多岐に渉る。個々の美しさを引き立てるナチュラルメイクアップを得意とし、メイクレッスンは人気絶えない。長年のクラシックバレエの経験を活かし、「舞台メイクも表現の一部」をスローガンとし舞台メイクのアドバイザーとしても多彩な力を発揮する。バレエ雑誌、SNS、メイクレッスンでは個々の美しさが際立つと共に演じる役の息吹が吹き込まれるメイクアップとして多くの支持と高評価を得る。